

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

【実習目標】

- ① 耳鼻咽喉科・頭頸部外科で取り扱う疾患範囲を把握し、患者にアドバイスできるようにする。
- ② 耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療の基本的診察法を身につける。
(診察の方法を習得し担当患者にて実習する。)
- ③ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の主要症候を理解し、診断に必要な技能を身につける。
(外来実習前に主要症候と診断のためのアルゴリズムを理解し、外来患者の診察を見学する。)
- ④ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の検査を理解し、診断に必要な検査の選択ができるようにする。
(検査の方法を実習し、外来患者の検査を見学する。)

【注意事項】

- ① 時間厳守 (詳細後述)
- ② 服装：白衣を着用し、襟元をきちんとする。足許は靴履き (運動シューズ可)
- ③ 持参物：筆記用具と各自の参考書
- ④ 患者に対する態度：
 - a. 医師らしく
 - b. 冷静に
 - c. やさしく
 - d. 自信にあふれた態度で患者に接し、患者に安心感を与えることが最も重要である。
 - e. 謙虚に

【集合場所】

耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学医局に月曜日午前9時集合

- ・月曜日が祝日の場合は火曜日午前9時に外来へ集合
- ・病気等の理由による欠席連絡は午前9時以降に医局に電話連絡
(TEL : 082-257-5252 E-mail : jibi@hiroshima-u.ac.jp)

医局：研究棟A1階

病棟：入院棟10階西

外来：診療棟2階

手術室：診療棟4階

【指導教員】

教授 竹野 幸夫 准教授 上田 勉

講師 石野 岳志・濱本 隆夫

助教 樽谷 貴之・堀部 裕一郎・築家 伸幸・竹本 浩太・西田 学・川住 知弘

【実習内容】

	9:00	12:00	14:00
月	[医局] オリエンテーション／症候学		[教授室] → [10階東病棟カンファレンス室] 教授との懇談→病棟カンファレンス 担当医からレポートテーマと 症例説明
火	[耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来] 外来見学		[耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来] 専門外来見学
水	[手術室] 手術見学（各自離れて見学）		[手術室] 16:00 まで 手術見学（各自離れて見学）
木	[耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来] 外来見学		[耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来 検査室] 検査見学
金	[手術室] 手術見学（各自離れて見学）		レポート作成 レポート提出期限 17:00 医局にレポート提出

【実習の評価方法・配点】

- ・実習初日に配布する「ポリクリ出席表およびスケジュール表」は、毎回当科担当者のチェックを受け、必ず最終日に提出すること。
- ・実習態度、手術ミニレポート、提出されたレポート等により評価する。配点は「手術ミニレポート 20点ずつ」「レポート 60点」の合計 100点とする。
- ・症例レポートは症例提示（主訴、病歴、既往、手術、術後経過）A4 1枚、テーマについて（レポートテーマについてのまとめと考察）A4 1枚の計 2 ページ程度を目安に作成。
（テーマ理解度・内容・文献引用・論文としてのまとめり・誤字脱字の有無で評価する。）
- ・手術ミニレポート 書式は Moodle に up されている書式を用いる。2つの症例について、病名・術式・日付・手術見学で学んだことや感想について記載。
- ・担当症例レポートの作成について

テーマの決定：月曜日の午後に決定する。

提出期限：担当週の金曜日 17:00 まで。金曜日が祝日の場合は翌週月曜日に提出。

レポートの形式：ケースレポート

1. 序文：レポートの内容と目的を明記する
2. 本文：主題にそった記述を参考文献から引用しつつ展開する
例) ……、局所制御が比較的良好とされ¹⁾、……
3. 考察：レポートのテーマを中心に
4. まとめ：本文を簡潔にまとめる
5. 参考文献：正規の記述で列挙すること

例) 1) 夜陣紘治、他：副鼻腔炎の難治化因子。特集 難治性副鼻腔炎の治療。

耳喉頭頸 74:587-590, 2002.

提出場所：耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学医局の秘書へ手渡す。

提出が遅れる可能性がある場合は、あらかじめ TEL か E-mail で連絡する。